

今回の教育実習で「いかに生徒のために時間を使うか」を学んだ。授業では、説明と演習の時間配分や教材準備の難しさを痛感した。一回の授業で完璧に内容を理解できる人はいないという前提で進めていくことが難しかった。また、応用問題を解く授業では、解説をしてもあまり反応がなく、基礎の授業での教え方、問題に対するアプローチの仕方がどうだったのかを振り返る機会になった。そのための教材研究が必要なのだと感じた。特に、ICT 機器でグラフを見せることや、以前の内容との比較を交えて導入部分を作ると理解が深まると感じた。また、授業以外の行事や部活の場面では、生徒と積極的にコミュニケーションをとることに全力を注いだ。わずかな隙間時間を使うことと話しかける勇気を持つことで、たくさんの生徒と話すことができ、実習の中でも格別に楽しかった。さらに、このわずかなコミュニケーションが授業に還元されることも知った。机間指導の時間に質問してくれる生徒が増え、よく考えてくれるようになり、細かな積み重ねが大切だと感じた。